

## News release

2015年6月8日

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
株式会社セブン&アイ・ホールディングス

### CTC、セブン&アイ ネットスーパー専用店舗に 配送計画自動化のためのクラウドサービスを導入 セブン&アイグループのオムニチャネル戦略を推進

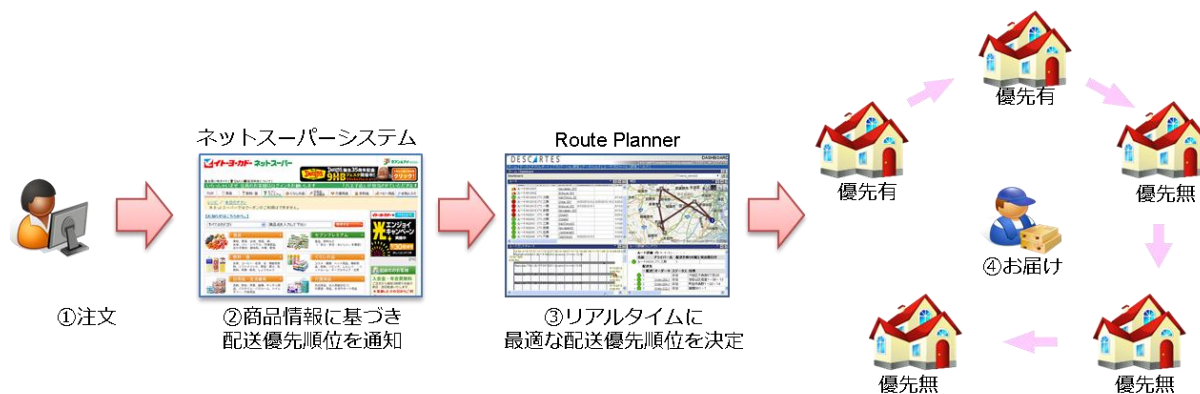
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:菊地 哲、本社:東京都千代田区、略称:CTC)と株式会社セブン&アイ・ホールディングス(代表取締役社長 最高執行責任者<COO>:村田 紀敏、本社:東京都千代田区、以下:セブン&アイ)は、セブン&アイ初のネットスーパー専用店舗「セブン&アイ・ホールディングス ネットスーパー西日暮里店」(以下:ネットスーパー西日暮里店)に、既存システムと連動して自動で配車計画を作成するクラウドサービス「Mobile Asset Management Service」(以下:MAMS)を導入いたします。ネットスーパー西日暮里店では、既に2015年3月から、MAMSを利用したサービスの試験的な運用を開始、6月より、本格的な運用を開始いたします。

ネットスーパー西日暮里店は、都心部をターゲットとした、セブン&アイのネットスーパー専用の新たな事業拠点です。お客様からの受注後、ネットスーパー西日暮里店で出荷時間に合わせて、注文を受けた生鮮品や惣菜を含む商品の調理等、配送準備、梱包を行います。既存のネットスーパーの約5倍となる1日あたり最大2,000件まで受注が可能で、他の既存店舗で1日あたり平均10便程度だった配送体制を23便に増便します。配送ルートについても、従来は配送担当者が独自に決定していましたが、MAMSの導入により、ネットスーパー西日暮里店では配送ルートの自動化・効率化が可能となり、生鮮品や作りたての惣菜等を優先的にお客様にお届けすることができるようになります。

MAMSは注文時に配送計画を自動的に作成するクラウドサービスで、配送予定時間や配送状況等を自社のウェブサイト上で追跡・確認することができます。受注と同時に、システムが効率的な配送ルートを自動で作成。配送担当者をはじめ関係者全員はPCやスマートフォンを使って情報共有が可能です。生鮮品や惣菜等が含まれた注文を優先的に配送するように設定できるため、スーパーの店頭での販売と同様に、出来たての商品を、ネットスーパーを利用するお客様にお届けすることができます。

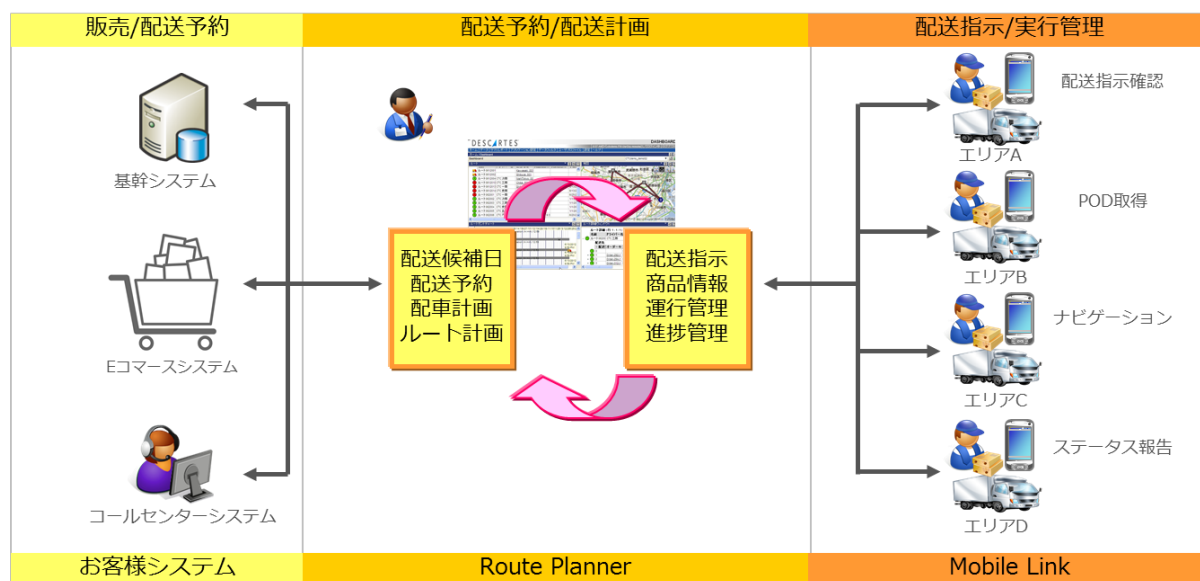
ネットスーパー西日暮里店は、セブン&アイが今秋から本格稼働を予定している新たなECビジネスである「オムニチャネル」戦略において、重要な事業拠点となります。CTCとセブン&アイは、CTCが提供する顧客との最終接点である「ラストワンマイル」を支えるクラウドサービスを活用し、地域のお客様に、より便利で、快適な、新たなお買い物サービスをご提供してまいります。

<生鮮品、惣菜等を優先配送するサービスイメージ>



鮮度を加味し配送ルートを決定(寿司を含む配送の例)

<MAMS がサービス提供する機能>



ネットスーパー西日暮里店に関する詳しい情報は以下の Web サイトをご参照ください。

パソコン・スマートフォン : <https://www.iy-net.jp>

携帯 : <https://mobile.iy-net.jp>

MAMS に関する詳しい情報は以下の Web サイトをご参照ください。

<http://www.ctc-g.co.jp/solutions/mams/>

尚、CTCは本ソリューションを6月10日、11日に開催される「アジア・シームレス物流フォーラム2015」に出展いたします。

イベント名 : アジア・シームレス物流フォーラム 2015  
主催 : 株式会社 流通研究社  
開催日時 : 2015年6月10日(水) 10:00~18:00  
                  11日(木) 10:00~17:00  
開催場所 : 東京流通センター(TRC)  
                  東京都大田区平和島 6-1-1 第2展示場 Eホール(1階)  
その他 : セミナー並びに事前登録の受付は別途主催者のホームページからお申込み  
                  願います。  
<http://www.mf-p.jp/asia2015/>

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上